

朝日町型部活動コミュニティクラブ ～地域と連携した部活動の運営～

富山県朝日町教育委員会事務局

局長代理・スポーツ係

若林 仁美

朝日町型部活動コミュニティクラブ

～ 地域と連携した部活動の運営 ～

朝日町では、生徒の部活動との多様な関わり方や職員の超過勤務時間の削減を目指し、部活動ガイドラインの遵守や地域資源を活用した部活動の地域連携を進めながら、教員の働き方改革を推進します。

令和3年度より「学校部活動」の一部を 「地域クラブ活動」に移行

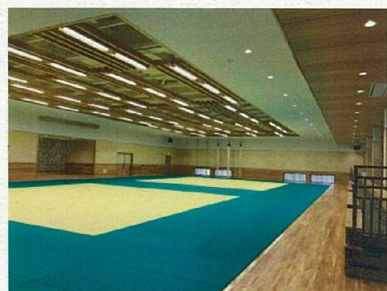
- ・運動部: バスケットボール、陸上競技、柔道
剣道、卓球、ソフトテニス、バレーボール
- ・文化部: 吹奏楽



【朝日町文化体育センター】

部活動ガイドラインの順守

- ・平日のうち1日、土日のうち1日以上を休業日とする。
- ・活動時間は、平日2時間程度、休業日は3時間程度とする。
- ・部活動休業日は、年間104日以上、そのうち週末は、少なくとも52日以上とする。



【朝日町武道館】



朝日町の豊かなスポーツ環境



【テニスコート】

○隣接する施設

- ・朝日町文化体育センター
- ・第2体育館、卓球室
- ・グラウンド、テニスコート
- ・多目的広場
- ・武道館（柔道・剣道）
- ・屋内グラウンド
- ・中学校体育館
- ・まちなか体育館

○豊かな人材、協力的な組織

「実行委員会」

- ・朝日町体育協会
- ・朝日町スポーツ関係団体
- ・朝日町文化・芸術関係団体
- ・朝日町PTA連絡協議会
- ・朝日町小中学校校長会
- ・朝日中学校
- ・朝日町教育センター
- ・富山大学
- ・朝日町教育委員会

朝日町型部活動コミュニティクラブロードマップ

ステップ1

(2020年7月)

- 1 地域と連携した部活動の在り方検討委員会開催
- 2 「朝日町型部活動コミュニティクラブ」設立の承認
- 3 朝日町体育協会所属団体説明会
連携・協力の在り方依頼
(概要説明及び今後の日程等について)

ステップ2

(2020年10月下旬)

- 1 体育協会傘下の各競技団体等の連携・協力体制の方向性の確認
(現況の進捗状況)
- 2 各競技団体等における連携・協力の方向性及び課題の取りまとめの検討依頼
- 3 新組織運営等に関する予算要求書作成

ステップ3

(2020年11月中旬
～2021年3月下旬)

- 1 各競技団体等における連携・協力の方向性と課題の取りまとめ
- 2 朝日町型コミュニティクラブ運営組織の構築及び事業委託
- 3 コミュニティクラブに係る朝日中学校との調整及び活動条件等の制定
- 4 地域指導者・部活動顧問教諭との連絡調整
- 5 地域と連携した部活動への移行に係る朝日中学校生徒及び保護者説明会
- 6 第2回地域と連携した部活動の在り方検討委員会開催

ステップ4

(2021年4月)

- 1 運営組織結成
- 2 朝日町型部活動コミュニティクラブ発足

ステップ3

2020年11月中旬～2021年3月下旬

各競技団体等における連携・協力の方向性と課題の取りまとめ

- 1 進捗状況の確認
- 2 連携・協力の方向性及び課題の取りまとめ
(一覧表の作成)

朝日町型コミュニティスポーツクラブ運営組織の構築及び事業委託

- 1 運営組織構造図作成
- 2 業務・役割等一覧表作成
- 3 委託内容の検討

朝日中学校との連携・協力内容の調整と合意及び活動条件の検討

- 1 連携・協力の確認、共通理解
- 2 競技団体と学校側との調整
- 3 指導員の選考及び指導に関する協定の作成(朝日町部活動ガイドライン遵守)
- 4 活動におけるクラブ及び協会と学校との取り決め、約束(条件)の協議

朝日中学校教職員及び生徒、保護者の啓発、承認及び同意

- 1 朝日中学校教職員への説明と共通理解
- 2 朝日中学校生徒への説明会
- 3 保護者説明会
- 4 中学校説明会における部活動方針の説明
(次年度就学生徒)
- 5 2021年4月クラブ発足に向けた準備

2021年4月朝日町型部活動コミュニティクラブ発足

朝日町型部活動コミュニティクラブ 概要

- 令和3年4月から、学校部活動の一部を地域クラブ活動へ移行。
- 週に平日1～2回(2時間程度)、休日1回(3時間程度)の実施。
- 上記以外の日は従来通り学校部活動として実施。
- 地域クラブ活動の指導者は原則「部活動指導員」「スポーツエキスパート」「競技協会員」であり、従来より学校部活動指導に関わっていた方々。



運営主体：朝日町型部活動コミュニティクラブ

活動場所：朝日中学校、隣接する町体育施設（体育館、武道館、屋内・屋外グラウンド、テニス場など）

活動頻度：週1～3回（平日1～2回、休日1回）

参加部活動：バスケットボール、柔道、剣道、卓球、陸上、バレーボール、ソフトテニス、吹奏楽

指導者：地域指導者

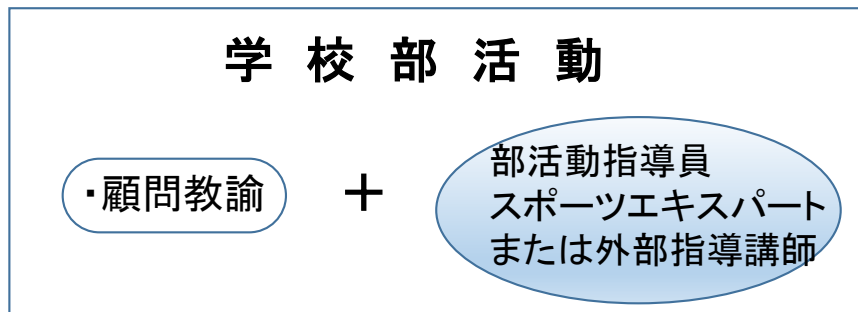
参加者：約130名

参加費：0円

クラブ活動運営費：謝金、保険代、旅費、消耗品費等

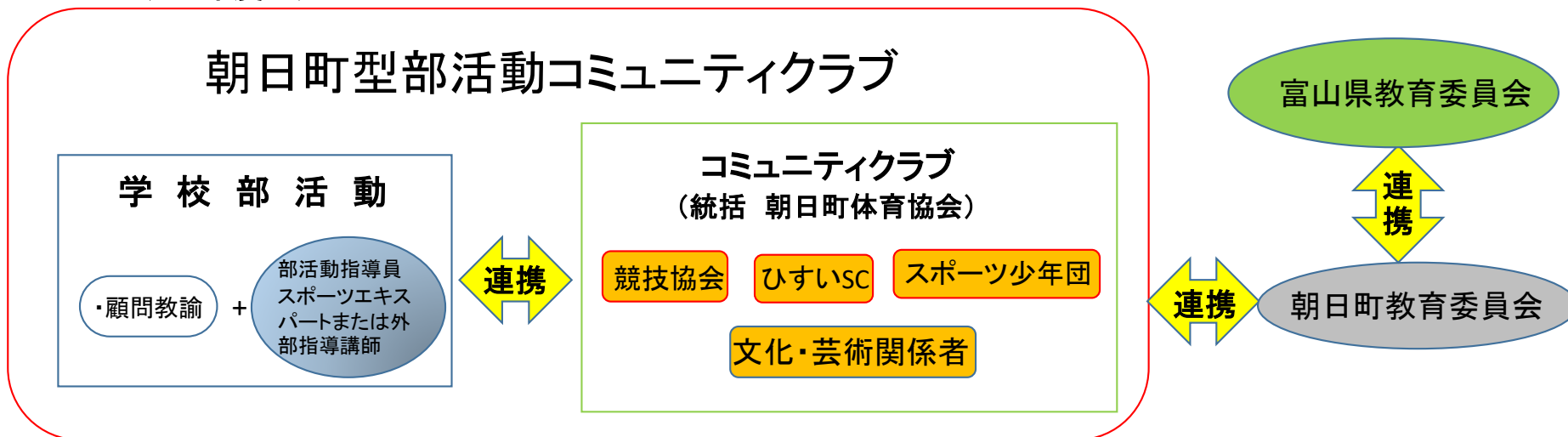
朝日中学校部活動イメージ

これまで（～R2年度）



※スポーツエキスパートは、富山県が地域の優れた指導者を運動部活動の充実と活性化を図るために派遣している外部指導者で、部活動指導員とは異なり、実技指導のみ携わることができる指導者である。

これから（R3年度～）



活動場所：朝日中学校、隣接する町体育施設

朝日町文化体育センター周辺図

Asahi Town Culture Sports Center Map



参加部活動・参加者状況

令和3年4月1日現在

・中学校部活動・地域クラブ活動実施状況

	部活動数	種目
運動部	9	バスケットボール、バレーボール、柔道、 剣道、卓球、バドミントン、 テニス、陸上、野球
文化部	2	吹奏楽、美術・情報
計	11	

中学校数	1校
生徒数	210名
参加者数	148名

地域クラブ指導者

【運動部】

- ・部活動指導員・・・ 5名

学校長の監督下で顧問の代わりに単独で指導・引率ができる

- ・スポーツエキスパート・・・ 4名

教員以外で相応の実技指導力を有し、運動部活動顧問と連携を取りながらスポーツの専門的な技術指導ができる人

【文化部】

- ・外部指導者・・・ 2名

(打楽器、管楽器専門指導者)

朝日町型部活動コミュニティクラブについて

◆朝日中学校の「学校部活動」の一部を段階的に「地域クラブ活動」に移行する取組を実施している。

<例示>

<これまで>

曜日	日	月	火	水	木	金	土	
活動等	休養日	学校部活動	休養日	学校部活動	学校部活動	学校部活動	学校部活動	学校部活動 11 h 平日 2 h × 4 日 = 8 h 休日 3 h × 1 日 = 3 h

「学校部活動」：学校の管理下で行う活動（従来型）

「地域クラブ活動」：学校の管理外で行う活動（地域移行型）

両輪

< R 3 年度 >

※地域クラブ活動は、原則休日 1 日、平日 1 日

曜日	日	月	火	水	木	金	土	
活動等	休養日	地域クラブ活動	休養日	学校部活動	学校部活動	学校部活動	地域クラブ活動	学校部活動 6 h 平日 2 h × 3 日 = 6 h 地域クラブ活動 5 h 平日 2 h × 1 日 = 2 h 休日 3 h × 1 日 = 3 h

< R 4 年度 ~ >

曜日	日	月	火	水	木	金	土	
活動等	休養日	地域クラブ活動	休養日	学校部活動	地域クラブ活動	学校部活動	地域クラブ活動	学校部活動 4 h 平日 2 h × 2 日 = 4 h 地域クラブ活動 7 h 平日 2 h × 2 日 = 4 h 休日 3 h × 1 日 = 3 h

※地域クラブ活動は、原則休日 1 日、平日 2 日以内

朝日町型部活動コミュニティクラブR3年度 年間スケジュール

月	日	予定	備考
4	15	第1回実行委員会	スケジュール、運営方法等
	27	地域クラブ指導者、学校部活動顧問、町教委との全体調整会議	活動計画打ち合わせ、意見交換等
		朝日中学校部活動スタート	
5	28	コミュニティクラブスタート	
	28	コミュニティクラブの公開	柔道部
	31	コミュニティクラブの公開	バスケットボール部
7	14～21	第1回アンケート調査	
	28	地域クラブ指導者、学校部活動顧問、町教委との全体調整会議	アンケート結果、体育館使用に係る検討事項等
9	18	地域部活動(文化部)推進事業 第1回実践研究に関する懇談会	
1 2	2	群馬県地域スポーツ推進団体連絡会 議委員 視察	卓球部
2	18～24	第2回アンケート調査	
3	17	地域クラブ指導者、学校部活動顧問、町教委との全体調整会議	結果報告と運営・成果の検証、次年度計画等

※学校部活動顧問との連絡調整打ち合わせ(地域クラブごと月1回)

朝日町型部活動コミュニティクラブ 活動状況（R3.5月～R4.1月）

単位：日(部活動日数)

クラブ	平日	休日	合計
卓球	34 (110)	16 (39)	50 (149)
柔道	33 (115)	16 (41)	49 (151)
陸上	32 (122)	24 (38)	56 (160)
バスケ	22 (128)	24 (45)	46 (173)
剣道	31 (124)	23 (47)	54 (171)
テニス	28 (125)	26 (53)	54 (178)
バレー	31 (122)	9 (14)	40 (136)
吹奏楽	7 (124)	24 (43)	31 (167)

部活動のうち

クラブ活動の割合 29.4%

・平日：22.4%

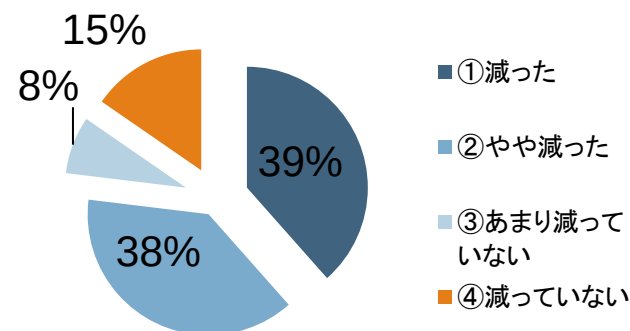
・休日：50.6%

評価

①教員の負担軽減

（残業時間数の減少、アンケート結果より）

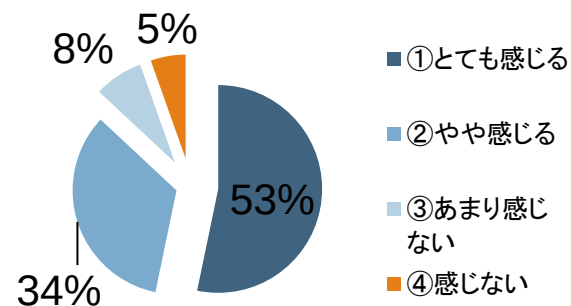
Q:「朝日町型部活動コミュニティクラブ」取り組みにより、
時間外勤務が減りましたか。



②専門的な指導の充実

（生徒は指導の充実を感じている...アンケート結果より）

Q:「朝日町型部活動コミュニティクラブ」の活動が体力・技術の
向上につながっていると感じますか。

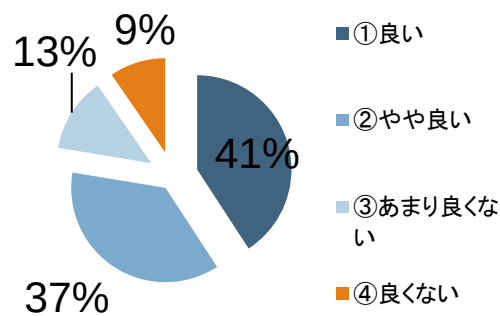


③関係者の肯定的理解

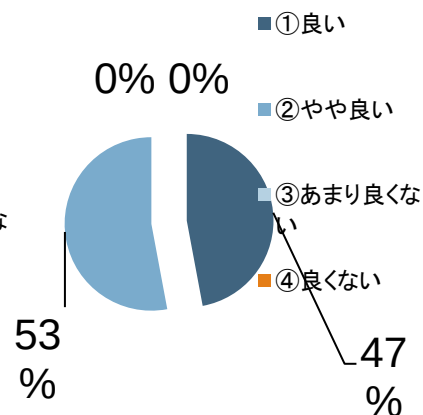
(生徒、顧問、指導者、保護者ともに地域移行について肯定的に捉えている...アンケート結果より)

Q: 学校部活動の一部(平日1日、休日1日)を地域クラブへ移行する取り組みについてどのように感じますか。

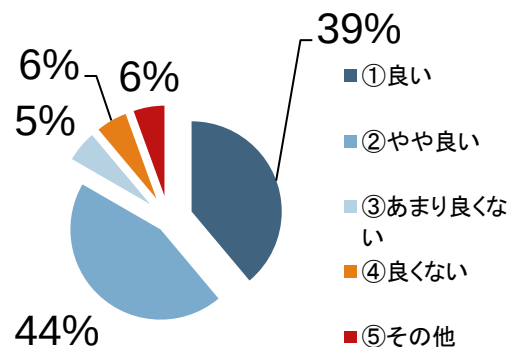
生徒



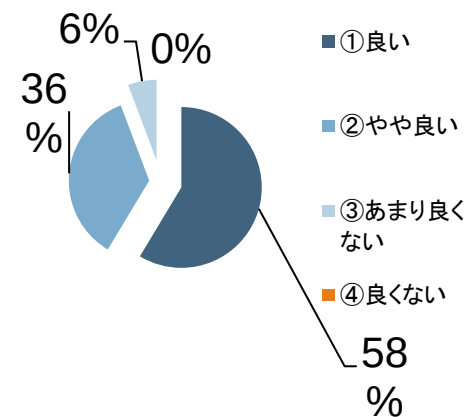
顧問



指導者



保護者



朝日中学校の部活動の地域移行に係る 朝日町型部活動コミュニティクラブの特色

- 1 学校部活動地域移行体制は、すでに構築されている。
朝日町では、教師の負担軽減と生徒にとって望ましい指導の実現を図るため、令和3・4年度、国の「地域部活動推進事業」活用し、学校部活動の地域移行を積極的に進めている。
- 2 教員の負担軽減に寄与している。
(77%の教員が時間外が「減った」・「やや減った」と回答)
- 3 運動部活動に加え、文化活動(吹奏楽部)も地域移行している。
- 4 休日(1日)に加え、平日(2日間)の学校部活動運動部活動に加え、文化活動(吹奏楽部)も地域移行している。

令和4年2月ア
ンケート

県内で朝日町だけが国の委託

→スポーツ庁「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」より

○まずは休日の部活動の地域移行、次のステップとして平日もできるところから取り組むことが考えられる。

成 果

- ・地域人材の活用により、専門性の高い指導が受けられるようになり、生徒の活動意欲が高まると共に技術及び競技力の向上等が図られたこと。
- ・小学校でのスポーツ少年団等から中学校の部活動へと計画的・継続的な一貫した指導が受けられるようになったこと。
- ・「学校部活動」の指導者（部活動指導員・スポーツエキスパート等）が、「地域クラブ活動」の指導を行っているため、指導の一貫性が担保されていること。
- ・教員がこれまで「学校部活動」指導にあてていた放課後の時間を教材研究や採点、生徒指導や進路指導等さまざまな業務にあてられるようになったこと。
- 教員の在校時間が削減され、身体的・精神的な負担が減少したこと。

- ・指導者の確保や育成
指導服務(部活動ガイドライン)の遵守、研修の実施方法
- ・指導方針や情報の共有の在り方
Teamsでの運用。PCがないと確認できない。
効率的な情報の共有手法の検討が必要
- ・生徒の安全管理の徹底
生徒の安全管理についての緊急対応等の徹底が必要
- ・費用負担のあり方
次年度以降の事業補助等、受益者負担金での運用の検討

朝日町型部活動コミュニティクラブ事業 今後の展開

	R3	R4	R5
朝日町			
運動部	7部活動 平日1日 休日1日 地域移行	7部活動 平日2日 休日1日上限 地域移行	地域移行可能な部活動 平日2日 休日1日上限 地域移行
文化部	1部活動 平日1日 休日1日 地域移行	1部活動 平日2日 休日1日上限 地域	
指導者	生徒への適正な指導提供のため、連携強化を図る。		
顧問			
行政			
運営財源	国の研究委託費により、運営		新たな財源による運営
	次年度以降の運営費の確保手段について検討		
国			休日の部活動の地域移行実施に向け、2025年度まで実施強化期間と位置付け、推進

未来の担う子どもたちの健やかな成長をオール朝日町で育む